

ニュース

第177号

発行日 平成27年2月13日
 発行日 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20
 電話 0299 (69) 2222
 FAX 0299 (69) 2237
 ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

今月の生活目標

【単 元】

- 新しい年を迎えて
- 冬のくらし



【目 標】

- 新年を迎え成人としての自覚を新たにし、1年間しっかりと過ごす心構えをつくろう。
- 冬を健康で過ごす為の基礎的な知識や技能を身に付けよう。

「生きる喜び」

副主任 千代田 麻子

去年は様々な研修や研究発表会の場に参加する機会がありました。その中の一つ、夏に開催された関東地区知的障害福祉関係職員研究大会で、『他者に認められる喜びが、利用者の生きがいにつながる』という内容の発表を聞きました。そういった活動は当施設にも取り入れてみたいと、その時は思ったのですが、いざ施設に帰ってきてみると、職員や家族の方々以外に活動の成果を披露する場を作るといのはなかなか難しいと感じていました。

そして、活動の内容や披露の場が具体的な形にならないまま気持ちだけが宙に浮いていた秋の初め、園長先生からナイスハートふれあいフェスティバルでの舞台発表の話頂きました。ナイスハートフェスティバルは、毎年12月に水戸で開催される障害者の文化祭です。当施設でも数年前に模擬演奏の発表をした事がありました。今回は模擬演奏と並んで利用者の皆さんが大好きなダンスを発表演目を選びました。演目全体の流れを決め、振り付けをし、音源を作り、そして、練習。職員も利用者も皆さんも三方月間一生懸命練習に励みました。発表に出る方も出ない



中台オールスターズ・オン・ザ・ステージ！
(ナイスハートフェスティバル)

方も、それぞれがそれぞれの参加の仕方でも頑張っていました。

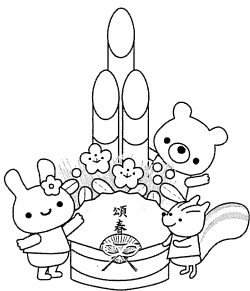
迎えた発表当日、緊張の面持ちの職員たちに比べ、利用者の皆さんは全員が笑顔で輝いていました。なるほど、これがあの時に聞いた生きがいにつながるという事なのだ、と実感したのでした。今後もこういった発表の場を施設内外に持てたらと思っています。

一方、認められる喜びは特別な発表会などだけではなく日頃の生活の中でも生まれるのだと思える事がありました。

Sさんは小柄で力も弱く、着替えや歯磨きなど、日課のほとんどが他者に依存的になっていきます。長い施設生活の中で、職員もSさんもそれ

があたりまえになってしまっていました。でも、それではSさんは自分では何一つできないままになってしまわないかと疑念を感じ、小さな事からでも自分でできる何かを見つけたいと思ったのです。その一つが「歯磨き後のコップを元の棚に戻す事」でした。コップにつけた紐を棚のフックに掛けるのですが、Sさんはなかなかうまくできず痛癢を起こす事もありました。しかし、毎食後、自分でできるまで付き添い、励まし続けました。コップを戻せたSさんは自分で「できた！」と言って拍手をしていました。私も一緒に「できたね」と拍手。Sさんは今では失敗する事なくコップを戻せるようになっていきます。そして、少しずつ、色々な事に対しても「自分でやろう」という気持ちが増えてきています。

きっかけは本当に小さな事ですが、自分でやる事の自信、そしてそれを認め、励まされる事の喜びが生きる力になっていくのだな、と思います。これからの様々な対外的な活動や日常生活の中で、少しでも利用者の皆さんの喜びにつながるような活動を見つけていきたいと思っています。



クリスマス会

生活支援員 林 遥香

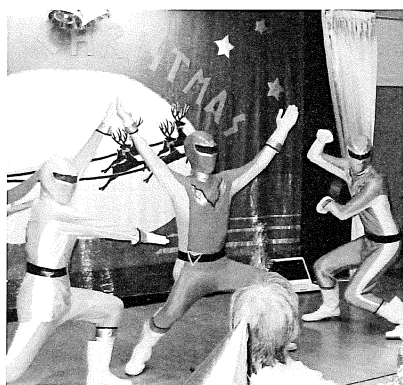
昨年12月13日、施設行事クリスマス会が催されました。毎年、利用者の皆さんは「今年はどんな料理が出るんだろう」「プレゼントは何だろう」と、ドキドキワクワク楽しみにされています。実は、私もドキドキしていました。なぜなら、当日の司会役を任されていたからです。司会をするのは初めてで、約一カ月前に係分担当が知らされた時から不安でいっぱい、緊張から夜も眠れない日もありました。

しかし始まってみると、利用者の皆さんの笑顔や笑い声が私の緊張をどこかに吹き飛ばしてくれました。やっぱり皆さんのパワーはすごいなと改めて実感したのです。

来賓の方々も大勢ご来園頂き、利用者さん、職員も合わせて総勢106人！大ホールが満員になりました。

利用者の皆さんは、かわいい帽子やアクセサリー、今人気のキャラクターに扮した仮装で登場する方もいました。職員も負けていません。それぞれこの日の為に準備した、こだわりの仮装で場を華やけていました。

会場全体から感じられた楽しい雰囲気、私も一緒に笑い、踊り、二時間半があつという間に過ぎていきました。来賓の方々、お帰りの際



新任職員もがんばりました

今年も登場！クリスマン!! (クリスマス会)

「とても楽しかったです。」「来年も楽しみにしています。」「おっしゃって下さいました。利用者の皆さんも「楽しかった!」「ご飯がすごくおいしかった!」と口々に賛辞を下さり、その嬉しそうに紅潮した顔を見て、司会は緊張したけれども、がんばってやっつてよかったですと思いました。

こんな素敵な体験ができて、私も皆さんの笑顔という素敵なプレゼントを頂けて、本当にありがとうございました。

事務所より

事務員 藤元千春

社会福祉法人においては、会計ルールの一元化が制定され、平成27年3月末の経過措置期限を前に、当園でも今年度より新会計への移行を行いました。移行後9ヶ月が経ちますが、まだまだ分からない所が多く、戸惑いながら作業を行っています。時折事務作業で行き詰る事があるのですが、そんな時に一瞬にして気持ちを解きほぐしてくれるものがあります。それは、事務所に届く利用者さんの元気な声や、利用者さんと交わす言葉などです。

事務所内での仕事为中心の為、利用者さんと接する時間はごくわずかです。しかし、微笑ましい場面に遭遇しては和み、利用者さんを気遣うつもりが逆に励まされ、パワーをもらう事もあります。行事などで引率する際は、一緒に出掛ける事を楽しみにして下さり、楽しい時間を共有しています。中台育心園の一員として共に過ごしていると感じる瞬間です。

これからも「共生」を大切にしながら、事務員としては利用者さんと支援を行う職員を支える縁の下の力持ち的な存在になれるよう、努めていきたいと思っています。

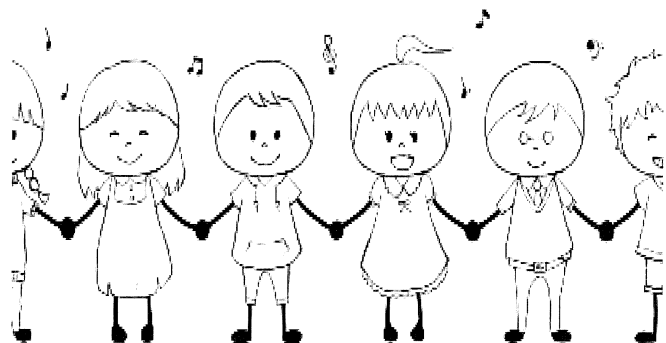
家族ふれあい会のお知らせ

今年度も、一年の締めくくりとして家族ふれあい会を開催いたします。

今年も楽しい企画がもりだくさん！初春のひととき、楽しい思い出の1ページを一緒に作りましょう。

たくさんのご家族の皆様のご参加をお待ちしています！

平成27年3月8日(日)
10:00~14:30(予定)
中台育心園大ホール他



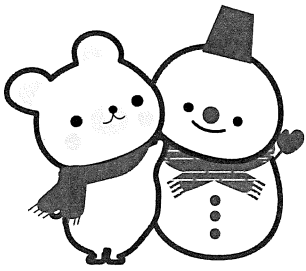
グループだより

★ひまわりグループ

『希望の光』

冬の寒さが身に沁みる季節になりました。小ホールにはストーブが置かれ皆の輪の中心になっています。早起きの池田さんは毎朝一番に小ホールに来てストーブに手をかざし、まだ暗い空を見上げながら朝日が昇るのをじっと待っています。そして暖かいストーブで体を温めた後、外で園庭の掃除をしてくれます。その頃には朝日が昇り、それをストーブ越しに見ている利用者さん達が、いつも「池田さんは働き者だねえ」と私に伝えてきてくれます。私にはその池田さんの姿がとても眩しく見えました。

掃除を終え、冷え切った体の池田さんが小ホールに戻ってくると、皆場所を明け、ストーブに一番近い特等席を譲ってあげています。心も体もあたたまる、毎朝の風景です。池田さん、いつもありがとうございます。〈近藤〉



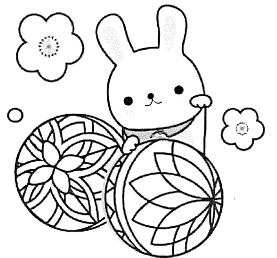
★すみれグループ

『まあるい心』

すみれグループは現在15名。82歳から33歳まで幅広い年齢層の方々が生活されています。年齢だけでなく、出身地もまちまちです。それだけ達達も仲間への不満や愚痴が溜まるのも仕方ない事。時々、口論になってしまいう事もあります。血の繋がった家族でもケンカする事だってあると思えば、すみれグループの皆さんは毎日寝食を共にし、支え合って生活しているのですから、お互いを家族同然と思っているのだなあ、と思うのです。

私事ですが、このお正月にお寺の住職のお話を聞く機会がありました。その説法の中に「同じ長さの紐で図形を作ると、その面積は四角や三角よりも丸が一番大きくなる。心も同じで、角を取った方がたくさん物事を受け入れる事ができる。」とありました。

家族同然のすみれグループの皆さん、今年はまだあるい心で、仲良く、時々ケンカしながら元気に過ごしていきたいましようね。〈木之内〉



★あざみグループ

『頼れる仲間』

あざみグループには頼りになる力持ちたちがいます。

ある日、午前中活動で職員が園庭の木の剪定をしていると、石田さんと竹添さんがやってきて切り落とした木の枝を運ぶのを手伝ってくれました。その意欲的な姿は「待ってました！」と言わんばかり。重い枝を物ともせず何往復もしてくれました。その内に、二人を見ていた湖林さんも手伝ってくれるようになり、皆で協力して最後の一枝まで運んでくれたのでした。

寒い日が続きますが、あざみグループの皆さんは風邪もひかず元気に過ごしています。寒さに負けずにどんどん体を動かして強い体を作ってくださいましよう！ 〈神崎〉



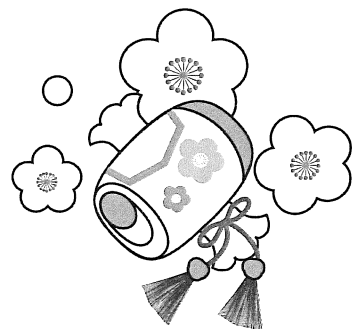
中台産の野菜を使ったメニューがたぐさんでました。(勤労感謝祭)

★なでしこグループ

『お料理ダイスキ!』

休日のお昼前、ダイニングにはたくさんのお料理雑誌が並んでいます。特に多いのはお料理雑誌。おいしそうに写った料理の写真がいっぱい載った雑誌には、自然と皆の心をつかんで離さないパワーがあるようです。ページをめくっては「おいしそうだね」「食べたいね」。中川さんや岡田さんは「どうやって作るのかな」と、メモを取ります。小野口さんと私はエアパクパクの始まりです。小野口さんは写真のお料理をつまんで私の目の前に運んでくれます。「あーん」と口を開けるとポンっと入れてくれ、もぐもぐすると小野口さんも一緒にもぐもぐもぐもぐ。そして二人でにつこり笑顔になる、とっても楽しい時間なのです。

食堂からいい匂いが。みんなで一緒に食べるごはんは最高のごちそうです。 〈藤城〉



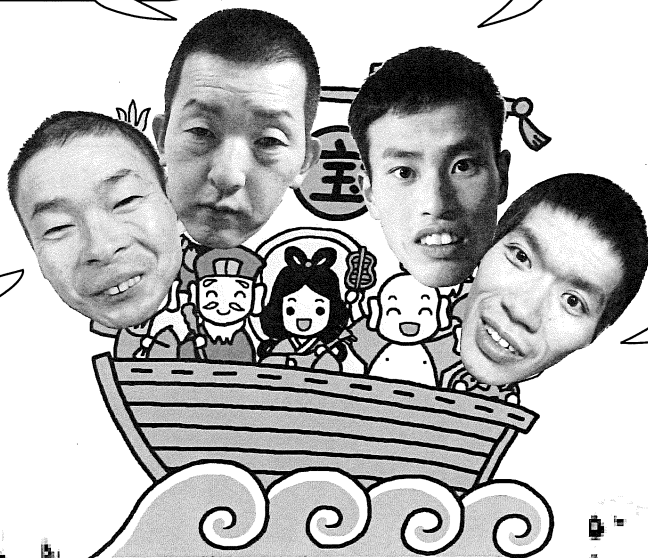
平成27年 未年 年男

竹添幸也さん (昭和42年生まれ)
「元気に仲良く過ごしましよ
う。」との言葉に、大く頷いてい
ました。

鳥居貴裕さん (平成3年生まれ)
みんなと仲良くします！
あと、配膳もがんばります。

川尻勝久さん (昭和54年生まれ)
「体を動かして、元気に過しま
しょう。」との言葉に元気に「う
ん」と答えてくれました。

坂本繁広さん (昭和42年生まれ)
梵天でのパン作業やグループで
の活動をがんばります。



跡 跡 跡

〔11・12月〕

〔寄付〕

- ▼芳野富美子様
- ▼島村輝久江様
- ▼多辺田昌代様
- ▼間野澄子様
- ▼片岡なみ子様
- ▼佐々木幸子様
- ▼北村昭夫様・千代子様

〔来園者〕

- ▽ベルの会様 (洗濯ボランティア)
- ▽羽生明義様 (絵画指導)
- ▽アットホームアンダンテ・ウイズ様 (演奏ボランティア)
- ▽永光パートナーズ渡辺様 (会計指導)
- ▽マウンテ 阿部様 (システム調整)
- ▽早川陽之様 (内科健診)
- ▽横田裕樹様 (会計監査)
- ▽アコ美容室様 (散髪)
- ▽大野消防署 内野様他三名 (総合訓練)
- ▽鹿島特別支援学校 藤原様・松沢様、永田梨紗様、板垣様 (実習打ち合わせ)
- ▽笠間市半杭様、米川様 (区分認定調査)
- ▽石岡市 川又様 (区分認定調査)
- ▽茨城町 木村様、遅野井様 (区分認定調査)
- ▽行方市 松本様、久米様 (区分判定調査)
- ▽福祉相談センター 高松様 (療育手帳再判定)
- ▽横山敏子様 (契約)
- ▽柳堀實様 (契約)
- ▽倉嶋恵美子様 (契約)
- ▽飯野泉様、ご家族様 (契約)
- ▽野口りつ子様 (相談支援契約)
- ▽川尻智之様 (相談支援契約)
- ▽緒形英夫様 (面会)
- ▽河野一夫様 (施設見学)
- 〔ショートステイ〕
- ▼茂木カツ子さん

〔日中一時支援〕

- ▽本谷竜久さん (放課後支援)
- ▽飯野泉さん

〔福祉体験〕

- ▼神栖第三中学校 (11月6日)

〔施設実習〕

- ▼鹿島特別支援学校 永田梨紗さん

〔11・12月誕生者〕

- ▼矢代順子さん (11月25日)
- ▼吉成セツ子さん (11月25日)
- ▼篠田純一さん (11月27日)
- ▼飯島あゆみさん (12月4日)
- ▼芳野恭子さん (12月8日)
- ▼山中圭子さん (12月8日)
- ▼横山稔修さん (12月21日)
- ▼柳堀聡さん (12月30日)

編集後記

あけましておめでとございます。
初詣のおみくじで生まれて初めて大吉
を引きました！しかも、「一番」の大吉
です！ありがとうございます！

「大吉」の字を見た時、思わず歓声を
上げてしまい、回りからの注目を浴び
てしまいました(笑)

今年はいい年になるといいな、では
なく、いい年にしよう！と、前向きな
気持ちで一年のスタートを切ることが
できました。

皆様も、よい一年になりますように。
本年もよろしくお祈りします。
(チヨダ)